

見附特別支援学校 学校だより



見附市立見附特別支援学校
令和5年度 第11号
令和6年3月14日
新潟県見附市月見台 1-10-74
電話 (0258) 63-2210

11月1日より当校も含め、市内の小中学校、特別支援学校のホームページが新しくなりました。こちらもぜひご覧ください。

「地域で豊かに自分らしく生きる」ために

校長

寒い冬も終わりを告げて、ようやく春を迎えようとしています。玄関に置かれたプランターからは子どもたちが植えたチューリップの球根が芽を出しています。よく見ると芽の先にはほんのり色がついています。

小学部2人、中学部7人、高等部8人の卒業生、保護者の皆様、晴れのご卒業おめでとうございます。

小学部・中学部の卒業生の皆さんの学校生活での生き生きとはつらつとした姿にいつも感心しています。これまで培った力とたくさんの思い出を胸に、希望をもって新たな学部に進んでください。

高等部の皆さんは、いよいよ社会にはばたきます。私は何事にも真摯に向き合い、全力で取り組んできた皆さんを誇らしく思います。いつかどこかでお会いしたときに、「毎日がんばっています。」そんな言葉が聞け、自信に満ちた表情が見られればいいなと思います。どうか見特の卒業生であることを誇りに、社会の中で活躍できることを期待しています。

チューリップにはそれぞれすてきな色があるように、卒業生の皆さんが、新たなステージで色とりどりの花を咲かせてほしいと願っています。

さて、今年度を振り返ってみますと、新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、教育活動への制限が緩和されつつあります。特に地域の中での活動や地域の方との活動が活発に行われたことはうれしい限りです。その取組の一つに『居住地校交流』があります。居住地校交流とは特別支援学校に通う児童生徒が、自分の住んでいる地域の小・中学校に行き、一緒に学習や行事に参加することです。



- じゃんけん列車は少し難しかったです。でも周りの子どもたちが本人の様子を見ながらゆっくりと歩いてくれたり、声を掛けてくれたりしたのでうれしそうに活動していました。(見附特別支援学校担任)
- 楽しかったです。また行きたいです。(本人)
- 交流に参加することでパワーをもらっています。本人の大好きなマリオやトーマスのゲームをして、一緒に遊ぼうと考えてくれてうれしかったです。また来年も会えるのを楽しみにしています。すてきな時間をありがとうございました。(保護者)
- 笑顔のすてきなお子さんだなあと感じました。今回、子どもたちは、国語の学習で、交流の内容について話し合いました。とてもよい機会を与えてもらったと思います。やり方は、まだ工夫の余地があったなあと反省していますが、最後に「楽しかったです。」と言ってもらったことが、何より子どもたちには励みになりました。(受入れ小学校担任)

これは居住地校交流実施後の感想を抜粋したものです。双方の子どもたちが生き生きと活動する姿が目に見えそうです。当校の子どもたちにとっては、多様な経験となり、自分の住む地域の子どもたちと交流がもてます。何よりも双方の子どもたちにとって、社会性や豊かな人間性を育成する上で、重要な役割を果たしています。そして、そうした積み重ねが当校の教育目標「地域で豊かに自分らしく生きる」につながっていくと考えます。今後も地域を大切に、地域と連携した取組を推進し、さらに地域に貢献できるよう努めてまいります。

最後になりますが、保護者や地域の皆様を始め、関係各位には、今年度多くのご支援をいただき心よりお礼申し上げます。新年度も見附特別支援学校の教育活動にご理解とご協力よろしくようお願い申し上げます。

【学校だより 町内回覧の終了について】

これまで見附市内の全地域の町内会へ学校だよりを配付し回覧していただいておりますが、本年度をもって町内会への配付を終了させていただきます。これまでのご協力に感謝申し上げます。学校だよりは当校ホームページに掲載いたしますので、今後はそちらをご覧くださいませようお願い申し上げます。(学校長)

